

(四) 赤道以北太平洋舊獨領
諸島委任統治條項

2-0686 |

0066

「パレスタイン」委任統治條項要綱

第一條 主タル同盟國ハ英國皇帝ニ委スルニ「パレスタイン」ノ行政ヲ以テシ受任國トシテ本委任ノ規定ニ依リ制限セラル、モノヲ除キ主權國政府ノ享有スル有ユル權力ヲ行使スルノ權ヲ有セシメ英國皇帝之ヲ受諾シ國際聯盟ノ名ニ於テ左記各項ノ規定ニ從ヒ之ヲ行フ

第二條 統治區域境界

第三條 同境界査定手續並理事會ノ議爭議決定權

第四條 受任國ハ同地ニ「ジウイツシ、ナシヨナル、ホーム」ノ樹立ヲ確保シ自治制度ヲ發達セシメ其ノ住民ヲシテ大體及宗教ノ如何ニ拘ラス民權及宗教上ノ權利ヲ享有セシムルノ責ヲ有ス

第五條 受任國ハ各地方ノ狀況ニ應ジ自治制度ヲ成ルヘク廣ク行ハムコトヲ獎勵スヘシ

1

第六條 *Jordan National Home* ノ設定及「パレスタイン」猶太人ノ利益ニ

關シ同地方政權ニ建議シ且協力セシムル爲メ「サイオニスト」組合ヲ

公認スルコト

第七條 受任國ハ「パレスタイン」ノ領土カ讓渡租借其他如何ナル方法

ニ依リテモ外國政府ノ管理ノ下ニ置カレサルコトニ付責任ヲ有ス

第八條 「パレスタイン」ニ移住スル猶太人ニ便宜ヲ與フルコト

第九條 「パレスタイン」ニ恒久的住所ヲ有スル猶太人ニ同地市民權獲

得ノ便ヲ與フルコト

第十條 「パレスタイン」ニ於テハ「カピチユレーション」又ハ慣習ニ

依リ從來土耳其帝國内ニ於テ享有スル領事裁判權其他外國人ノ特權ヲ

全然廢止ス

第十一條 「パレスタイン」ニ對シ制定スヘキ法制カ(a)外國人ノ利益ヲ

2

保護シ且(b)「パレスティン」ニ現存スル宗教的の信念ニ基ク特權ノ法制ヲ尊重スルコトニ付受任國ハ責任ヲ負フ

第十二條 犯罪人引渡ニ關シテハ外國ト引渡條約締結セラル、迄受任國ト當該國間ノ引渡條約ヲ「パレスティン」ニ適用ス

第十三條 「パレスティン」政廳ハ同地ノ發展ニ關シ公共利益保全ノ爲有ラユル必要ノ措置ヲ執リ又土耳其ト締結セル講和條約第三一一條ニ反對セサル限り同地ノ天然富源等ニ關シ「コントロオル」ヲ行ヒ得ルコト

第十四條 受任國ハ「パレスティン」ノ外交關係ノ(總)託セラレ外國ノ任命セル領事ニ對シ認可狀ヲ與フル權ヲ對與セラル又受任國ハ「パレスティン」人ノ其ノ境域外ニ在ルモノニ對シ外交的保護權專ニ依ル保護ニ任ス

第十五條 受任國ハ「パレスティン」ニ於ケル聖地及宗教上ノ建物又ハ聖地ニ關スル全責任ヲ負フ

第十六條 對土平和條約九五條ニ從ヒ受任國ハ各種宗教團體ニ關スル諸問題及要求ヲ考究解決スヘキ特別委員ヲ選ニ任命シ該委員會ハ聖地及宗教上ノ營造物ヲ監督スヘキ團體ヲ設ケ且之ヲ監督スルコト

第十七條 對土條約第四百二十一條ニ基ク史蹟保存法ヲ委任統治ノ施行後十二ヶ月以内ニ實行スルコト

何人モ單ニ宗教上ノ信念ヲ理由トシテ「パレスティン」ヨリ放逐セラレタルコトナシ

第十八條 受任國ハ公ノ秩序ニ反セサル限り各種傳道ノ自由ヲ許スコト
第十九條 「パレスティン」聖地ハ平和及秩序ヲ維持シ且國境上ニ必要ナル義勇軍ヲ組織スルヲ得ルコト又受任國ハ何時ニテモ「パレスティン」

ン」ノ道路及鐵道ニ依リ軍隊ヲ移動シ又燃料及軍需品ノ運送ノ爲「パ
レスターイン」ノ港ヲ使用スルヲ得ルコト

第二十條 英語、「アラビア」語及「ヒブール」語ヲ「パレスターイン」
ノ公用語トスルコト

第二十一條 受任國ハ「パレスターイン」ノ爲奴隸賣買武器取引等ノ國際
協定ニ加ハルヘキ事ヲ約ス

第二十二條 受任國ハ事情ノ許ス限り疾病（動植物疾病ヲ含ム）豫防ノ
爲聯盟ノ取ルヘキ協同政策ノ實施ニ關シ「パレスターイン」政府ノ協力
ヲ得ム事ヲ約ス

第二十三條 受任國ハ「パレスターイン」ニ於テ課税、商業若ハ航海、產
業若ハ職業ノ遂行又ハ船舶若ハ航空機ノ取扱ニ關スル事項ニ付國際聯
盟國ノ何レノ一國ノ臣民（該國ノ法律ニ依ル會社ヲ包含ス）ニ對シテ

通

モ受任國臣民又ハ何レノ他ノ一國ノ臣民ニ比シ差別ヲ設ケサルコトヲ
約ス右ト同様ニ「パレスターイン」ニ於テ前記諸國ノ何レノ一國ニ對シ
若ハ之ニ仕向ケラル、貨物ニ對シテ何等ノ差別ヲ設ケス又均等ノ條件
ヲ以テ委任地域通過ノ自由ヲ附與ス

（不明）（目下問合中）「パレスターイン」政府ハ受任國ノ助言ニ基キ其
ノ必要ト思考スル種種關稅ヲ課シ且該國ノ天然資源ノ開發ヲ助長シ
及住民ノ利益ヲ擁護スル爲ニ最善ト考慮スヘキ措置ヲ執ルコトヲ得
本條ハ「パレスターイン」政府カ受任國ノ助言ニ基キ千九百十四年ニ於
テ其ノ領域カ全ク亞細亞土耳其又ハ亞刺比亞ニ包含セラレタル一國ト

特別關稅取極ヲ結フコトヲ妨クルモノニ非ス

第二十四條 （脫）

✓ 第二十五條 「パレスティン」ニ於ケル各權社會ノ祭日ヲ以テ當該社會ノ公定休日ト認ムルコト

第二十六條 受任國ハ毎年委任事項實施ノ爲其ノ年度内ニ取レル手段ニ

關シ理事會ニ報告ス其ノ一年內ニ公布或ハ發布セラレタル法律ハ報告

ト共ニ提出スヘシ

第二十七條 本宣言ノ條項ノ解釋適用ニ關シ聯盟機關ニ争起リ協定ヲ得

サル時ハ聯盟ノ常設國際司法裁判所ノ審判ニ附ス

第二十八條 本委任統治ノ條項ノ變更ニハ聯盟理事會ノ承認ヲ要ス但シ

受任國ノ提議ニ基テ變更ニ付テハ其ノ承諾ハ理事會ノ過半議決ニ依ル

✓ 第二十九條 第一項委任統治終了ノ時ニハ聯盟理事會ハ第十五條及第

十六條ニ於テ保障セラレタル權利ヲ聯盟保障ノ下ニ永久ニ維護スル爲

必要ト認ムル措置ヲ爲スヘキ事ト

本宣言ハ「コンファメーション」ノ爲ニテ聯盟理事會ニ附ス而シテ其ノ「コンファメーション」發表カヲ生ス

假研考系
系研作の東

赤道以北太平洋諸島委任統治領

附 帝國政府官

田十郎

2-0686

0071

國際聯盟理事會ハ

千九百十九年六月二十八日「ヴェルサイユ」ニ於テ署名シタル獨逸國ト

ノ平和條約第百十九條ニ依リ獨逸國ハ其ノ海外屬地ニ關スル一切ノ權利

ヲ主タル同盟及聯合國ノ爲ニ拋棄シ其ノ獨逸國海外屬地中「赤道以北

ノ太平洋ニ在ル諸島ヲ含ムニ因リ且

主タル同盟及聯合國ハ同平和條約第一編（國際聯盟規約）第二十二條ニ

依リ日本國皇帝陛下ニ前記諸島ノ統治ヲ委任スルコトヲ一致シテ委任スル

事ニ決シ且日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

リ日本國皇帝陛下ハ前記諸島ノ統治ニ關スル委任ヲ受諾シ左ノ規定ニ依

第一條

日本國皇帝陛下（以下受任國ト稱ス）ニ統治ヲ委任シタル諸島ハ赤道以

北ノ太平洋ニ在ル舊獨逸領諸島ノ全部ヲ含ム

第二條

受任國ハ本條ノ日本帝國ノ構成部分トシテ本委任統治條項ニ遵ヒ之ニ

對シ行政及立法ノ全權ヲ有スヘク且地方的事情ニ依リ必要ナル變更ヲ加

ヘテ本地域ニ日本帝國ノ法規ヲ適用スルコトヲ得受任國ハ本委任統治條

項ニ遵ヒ權力其ノ地域ノ住民ノ物質的及精神的幸福並社會的進歩ヲ增進

スヘレ

スヘレ

第三條

受任國ハ奴隸賣買ヲ禁止スヘク且須要ナル公共的工率及役務ノ爲ニスル場合
 際ノ外 地方外ノ場合ニ於テモ相當人報償ヲ
 支拂フコトヲ要ス
 受任國ハ又千九百十九年九月十日署名ノ武器取引ノ取締ニ關スル條約又
 ハ之ヲ修正スル條約ニ規定スル 所同格ナル原則ニ準據シ
 本地域ノ土民ニ節制性ヲ有スル火酒及飲料ヲ供給スルコトヲ禁止スヘシ

第四條

本地域ノ地方的警察ノ爲ニスル場合ヲ除クノ外本
 土著民ノ軍事教育ハ本地域内及本地域

軍事的訓練ハ之ヲ禁止スヘシ又本地域内ニ陸海軍根據地若ハ軍港ヲ建
 設スルコトヲ得ス

第五條

公ノ秩序及善ノ風俗維持ニ關スル地方的法規ニ反セサル限り受任國ハ
 本地域内ニ於テ良心ノ自由並一切ノ形式ノ禮拜ヲ自由ニ行フコトヲ確保
 シ又聯盟國ノ國民タル一切ノ宣教師カ其ノ職務ヲ行フ爲本地域内ニ到リ
 旅行シ又ハ居住スルコトヲ許スヘシ

第六條

受任國ハ國際聯盟理事會ニ其ノ満足セムキ年報ヲ提出スヘシ其ノ年報中
 ニハ本地域ニ關スル詳細ナル情報ヲ記載シ且第二條乃至第五條ニ依リ負

擔シタル義務ヲ實行スル爲ニ執リタル諸般ノ措置ヲ表示スヘシ

第七條

本委任統治條項ノ規定ヲ變更スルニハ國際聯盟理事會ノ同意ヲ要ス
委任國ハ本委任統治條項ノ規定ノ解釋ニ關シ受任國ト他ノ聯盟國トノ間
ニ紛争ヲ生ジ其紛争カ交渉ニ依リ解決スルコト能ハサルトキハ之ヲ國
際聯盟規約第十四條ニ規定スル常設國際司法裁判所ニ付託スヘキコトヲ
要ス

本宣言ハ國際聯盟ノ記録ニ之ヲ寄託スヘク國際聯盟事務總長ハ本書ノ認
證牒本ヲ獨逸國トノ平和條約ノ署名國ニ送付スヘシ

千九百二十年十二月十七日

0074

〇式委任統治條項ニ關スル帝國政府ノ宣言

帝國政府ハ國際聯盟ノ根本精神上將又聯盟規約ノ解釋上通商及貿易上ノ
機會均等ヲ保障スル一項ヲ〇式委任統治條項中ニ挿入スヘシトノ帝國政
府從來ノ主張ニ正當ニ確信ナクモイナレトキ和衷共同ノ精神ヨリ且本國
國ヲ未解決ノ狀態ニ存セシムルヲ欲セサルニ依リ現在ノ形式ニ委任統治
治條項ヲ制定スルニ同意スルコトニ決シタリ
尤モ右ノ決定ハ帝國政府ヲ委任統治地域ニ於テ其臣民ノ差別
的且不利益ナル待遇ヲ受クルコトヲ容認シタルモノト看做スヲ得ヌ又帝
國政府ハ從來帝國臣民カ是等ノ地域ニ於テ享有シタル權利及利益ヲ充分
ニ尊重セラレヘシトノ主張ヲ依リテ放棄シタルモノニ非ス

2-0686

條約第一課

新「パレスタイン」委任統治條項要領（理學會承認決議案）

加盟主タル聯合國（英、佛、伊、日）全權委員ハ對土條約第百三十二條及同第九十四條ニ基キ「パレスタイン」ノ委任統治ヲ英國皇帝ニ託シ委任國トシテ本委任ノ規定ニ依リ制限セラルルモノヲ除キ主權國政府ノ享有スル有ユル權力ヲ行使スルノ權ヲ有セシメ英國皇帝之ヲ受託シ國際聯盟ノ名ニ於テ左記條項ノ規定ニ從ヒテ行フ

秘

國際聯盟理事會ハ左記條項ヲ承認ス

第一條 英國ハ本委任統治條項ニ依リテ制限セラレサル限り委任國トシテ主權國政府ノ享有スル總テノ權力ヲ行使スルコトヲ得

1 第二條 委任國ハ同地ニ「Jewish national home」（猶太人郷土「註」）ノ樹立ヲ確保シ自治制度ヲ發達セシメ其ノ住民ヲシテ人種及宗教ノ如何ニ拘ラス民權及宗教上ノ權利ヲ享有セシムルノ責ヲ有ス

(註)

「Jewish National Home」トハ一九一七年十一月二日ノ「バルフォア」氏宣言ニ由來ス。要旨次ノ如シ

His Majesty's Government view with favour the establishment in Palestine of a national home for the Jewish people, and will use their best endeavours to facilitate the achievement of that object, it being clearly understood that nothing shall be done which may prejudice the rights and religious rights of existing non-Jewish communities in Palestine, or the rights and political status enjoyed by Jews in any other country.

2 第三條 委任國ハ各地方ノ状況ニ應ジ自治制度ヲ成ルヘク廣ク行ハムコトヲ獎勵スヘシ

第四條 Jewish National Home ノ設定及「パレスタイン」猶太人ノ利益ニ關シ同地方政廳ニ建議シ且協力セシムル爲「サイオニスト」組合(Zionist)ヲ公認スルコト

④ 第五條 受任國ハ「パレスチン」ノ領土カ讓渡、租借其ノ他如何ナル

方法ニ依リテハ外國政府ノ管理ノ下ニ置カレサルコトニ付責任ヲ有ス

第六條 「パレスチン」ニ移住スル猶太人ニ便宜ヲ與フルコト

第七條 「パレスチン」ニ恒久的住所ヲ有スル猶太人ニ同地市民權獲

得ノ便ヲ與フルコト

⑤ 第八條 「パレスチン」ニ於テハ「カピチュレーション」又ハ慣習ニ

依リ從來土耳其帝國內ニ於テ享有スル領事裁判權其ノ他外國人ノ特權

ハ一切之ヲ廢止ス

⑥ 第九條 「パレスチン」ニ對シ制定スヘキ法制カ(a)外國人ノ利益ヲ保

護シ且(b)「パレスチン」ニ現存スル宗教的信念ニ基ク特權ノ法制ヲ

尊重スルコトニ付受任國ハ責任ヲ負フ

3

⑦ 第十條 犯罪人引渡ニ關シテハ外國ト犯罪人引渡條約締結セララル迄受

任國ト當該國間ノ犯罪人引渡條約ヲ「パレスチン」ニ適用ス

第十一條 「パレスチン」政廳ハ同地ノ發展ニ關シ公共利益保全ノ爲

有ラユル必要ノ措置ヲ執リ又土耳其ト締結セル講和條約第三一一條ニ

反對セサル限り同地ノ天然富源等ニ關シ「コントロール」ヲ行ヒ得ルコ

ト

⑧ 第十二條 受任國ハ「パレスチン」ノ外交關係ノ處理ヲ(ハ?)託セラ

レ外國ノ任命セル領事ニ對シ認可狀ヲ與フル權ヲ附與セラル又受任國

ハ「パレスチン」人ノ其ノ境域外ニ在ルモノニ對シ外交的保護及領

事ニ依ル保護ニ任ス

第十三條 受任國ハ「パレスチン」ニ於ケル地及宗教上ノ建物又ハ

敷地ニ關シ全責任ヲ負フ

4

第十四條 對土平和條約第九五條第二項ノ規定ニ從ヒ受任國ハ各種宗教

團體ニ關スル諸問題及要求ヲ考究解決スヘキ特別委員ヲ速ニ任命シ該
委員會ハ聖地及宗教上ノ營造物ヲ監督スヘキ團體ヲ設ケ且之ヲ監督ス
ルコト

第十五條 對土條約第四百二十一條ニ基テ史蹟保存法ヲ委任統治ノ施行
後十二ヶ月以内ニ實行スルコト

何人モ單ニ宗教上ノ信念ヲ理由トシテ「パレスタイン」ヨリ放逐セラ
ルルコトナシ

第十六條 受任國ハ公ノ秩序ニ反セサル限り各種傳道ノ自由ヲ許スコト

第十七條 「パレスタイン」政廳ハ平和及秩序ノ維持並ニ國防上ニ必要
ナル義勇軍ヲ組織スルヲ得ルコト又受任國ハ何時ニテモ「パレスタイ
ン」ノ道路及鐵道ニ依リ軍隊ヲ移動シ又燃料及軍需品ノ運送ノ爲「パ
レスタイン」ノ港ヲ使用スルヲ得ルコト

5

第十八條 英語、「アラビア」語及「ヘブル」語ヲ「パレスタイン」
ノ公用語トスルコト

第十九條 受任國ハ「パレスタイン」ノ爲奴隸賣買、武器取引等ノ國際
協定ニ加入スヘキコトヲ約ス

第二十條 受任國ハ事情ノ許ス限り疾病（動植物ノ疾病ヲ含ム）豫防ノ
爲聯盟ノ執ルヘキ協同政策ノ實施ニ關シ「パレスタイン」政府ノ協力
ヲ得ムコトヲ約ス

第二十一條 受任國ハ「パレスタイン」ニ於テ課税、商業若ハ航海、產
業若ハ職業ノ遂行又ハ船舶若ハ航空機ノ取扱ニ關スル事項ニ付國際聯
盟國ノ何レノ一國ノ人民（該國ノ法律ニ依ル會社ヲ包含ス）ニ對シテ
モ受任國人民又ハ何レノ他ノ一國ノ人民ニ比シ差別ヲ設ケサルコトヲ
約ス右ト同様ニ「パレスタイン」ニ於テ前記諸國ノ何レノ一國ニ產シ

6

若ハ之ニ仕向ケラルル物ニ對シテ何等ノ差別ヲ設ケス又均等ノ條件ヲ以テ委任地域通過ノ自由ヲ附與ス

前記諸條件ニ遵ヒ「パレスタイン」政府ハ受任國ノ助言ニ基キ其ノ必要ト思考スル租税釐關稅ヲ課シ且該國ノ天然資源開發ヲ助長シ及住民ノ利益ヲ擁護スル爲ニ最善ト考慮スヘキ措置ヲ執ルコトヲ得

本條ハ「パレスタイン」政府カ受任國ノ助言ニ基キ千九百十四年ニ於テ其ノ債賦カ全ク亞細亞土耳其又ハ亞刺比亞ニ包含セラレタル一國ト特別關稅取極ヲ結フコトヲ妨クルモノニ非ラス

第二十二條 (脱) (目下問合中)

第二十三條 「パレスタイン」ニ於ケル各種社會ノ祭日ヲ以テ當該社會ノ公定休日ト認ムルコト

7

第二十四條 受任國ハ毎年委任條項實施ノ爲其ノ年度内ニ採レル手段ニ

關シ理事會ニ報告スヘシ其ノ一年內ニ公布或ハ發布セラレタル法律ハ報告ト共ニ提出スヘシ

第二十五條 本宣言ノ條項ノ解釋適用ニ關シ聯盟國間ニ争起リ協定ヲ得

サル時ハ聯盟ノ常設國際司法裁判所ノ審判ニ附スヘシ

第二十六條 本委任統治ノ條項ノ變更ニハ聯盟理事會ノ承認ヲ要ス且受任國ノ提議ニ基ク變更ニ付テハ其ノ承諾ハ理事會ノ過半數決ニ依ル

第二十七條 第一條委任統治終了ノ場合ニハ聯盟理事會ハ第十三條及第十四條ニ於テ保障セラレタル權利ヲ聯盟保障ノ下ニ永久ニ擁護スル爲必要ト認ムル措置ヲ爲スヘキコト

8

「パレスタイン」行政上起生セル適法ナル財政上ノ負擔ハ「パレスタイン」政府ヲシテ充分尊重セシムル様聯盟理事會ニ於テ必要ナル措置ヲ執ルヘシ

新「メソポタミヤ」委任統治條項要領（理事會承認決議案）

加盟主タル聯合國（英、佛、伊、日）全權委員ハ對土條約第三百三十二條及同第九十四條ニ基キ「メソポタミヤ」ノ委任統治ヲ英國皇帝ニ託シ受任國トシテ本委任ノ規定ニ依リ制限セラルルモノヲ除キ主權國政府ノ享有スル有ユル權力ヲ行使スルノ權ヲ有セシメ英國皇帝之ヲ受諾シ國際聯盟ノ名ニ於テ左記各項ノ規定ニ從ヒ之ヲ行フ

國際聯盟理事會ハ左記條項ヲ承認ス

第一條 受任國ハ三年以内ニ可成速ニ「メソポタミヤ」ノ爲基礎法ヲ制定スヘシ

第二條 受任國ハ委任統治地域防衛ノ爲同域内ニ軍隊ヲ置クコトヲ得且基礎法制定セラレ一般的安全回復スル迄ハ秩序維持ノ爲地方軍隊ヲ組織使用スルコトヲ得但シ該軍隊ハ委任統治地域内住民ヨリ徵募スヘシ

1

受任國ハ何時ニテモ軍隊輸送ノ爲「メソポタミヤ」ノ道ヲ使

シ又燃料其ノ他ノ需要品積積ミノ爲港灣ヲ使用スルコトヲ得

受任國ニ於テ前記目的以外ニ土民兵ノ使用セラルルヲ防クヘキコトヲ

明ニス

第三條 受任國ハ「メソポタミヤ」ノ外交關係ノ處理ヲ（甲）託セラレ外國ノ任命セル領事ニ對シ認可狀ヲ與フル權ヲ附與セラル又受任國ハ「メソポタミヤ」人ノ其ノ境域外ニ在ルモノニ對シ外交的保護及領事ニ依ル保護ニ任ス

第四條 受任國ハ「メソポタミヤ」ノ領土カ讓渡、租借其ノ他如何ナル方法ニ依リテモ外國政府ノ管理下ニ置カレサルコトニ付責任ヲ有ス

第五條 「メソポタミヤ」ニ於テハ「ガ」テ「ユ」シ「ヨ」シ又ハ慣習ニ依リ從來土耳其帝國内ニ於テ享有セル領事裁判權其ノ他外國人ノ特

2

ハ總テ之ヲ廢止ス

第六條 「メソポタミヤ」ニ對シ制定スヘキ法制力(a)外國人ノ利益ヲ保護シ且(b)「メソポタミヤ」ニ現存スル宗教的の信念ニ基ク特種ノ法制ヲ尊重スルコトニ付受任國ハ責任ヲ負フ

第七條 犯罪人引渡ニ關シテハ外國犯罪人引渡條約締結セララルル迄受任國ト當該國間ノ犯罪人引渡條約ヲ「メソポタミヤ」ニ適用ス

第八條 土着民ノ良心、信教及勞働ノ自由、人種、宗教及言語ノ差異ニ依リ土着人民ハ差別待遇ヲ受ケサルコト

第九條 寺院特權ノ保護

第十條 受任國ハ公ノ秩序ニ反セサル限り各種傳道ノ自由ヲ許スコト

第十一條 受任國ハ「メソポタミヤ」ニ於テ課税、商業若ハ航海、産業若ハ職工ノ遂行又ハ船舶若ハ航空機ノ取扱ニ關スル事項ニ付國際聯盟

國ノ何レノ一國ノ人民(該國ノ法律ニ依ル會社ヲ包含ス)ニ對シテモ受任國人民又ハ何レノ他ノ一國ノ人民ニ比シ差別ヲ設ケサルコトヲ約ス右ト同様ニ「メソポタミヤ」ニ於テ前記諸國ノ何レノ一國ニ産シ若ハ之ニ仕向ケラルル貨物ニ對シ何等ノ差別ヲ設ケス又均等ノ條件ヲ以テ委任地域通過ノ自由ヲ附與ス

前記諸條件ニ遵ビ「メソポタミヤ」政府ハ受任國ノ助言ニ基キ其ノ必要ト思考スル租税並關稅ヲ課シ且該國ノ天然資源ノ開發ヲ助長シ及住民ノ利益ヲ擁護スル爲最善ト思考スル措置ヲ執ルコトヲ得

本條ハ「メソポタミヤ」政府カ受任國ノ助言ニ基キ千九百十四年ニ於テ其ノ領域カ全ク亞細亞土耳其又ハ亞刺比亞ニ包含セラレタル一國ト特別關稅取扱ヲ結フコトヲ妨クルモノニアラス

第十二條 受任國ハ「メソポタミヤ」ノ爲奴隸賣買、武器取引等ノ國際

協定ニ加入スヘキ事ヲ約ス

第十三條 受任國ハ事情ノ許ス限リ疾病（動植物ノ疾病ヲ含ム）豫防ノ爲聯盟ノ執ルヘキ協同政策ノ實施ニ關シ「メソポタミヤ」政府ノ協力ヲ得ムコトヲ約ス

第十四條 對土條約第四百二十一條ニ基ク史蹟保存法ヲ委任統治ノ施行後十二ヶ月以内ニ實行スルコト

第十五條 前記基礎法ノ實施ト同時ニ受任國及「メソポタミヤ」政府ハ「メソポタミヤ」政府カ其ノ利益ニ歸スヘキ公共事業及永久の性質ヲ有スル其ノ他ノ公務ヲ繼承スヘキ條件ヲ決定スル爲相互間ニ一ノ取扱ヲ爲スヘシ

右取扱ハ國際聯盟理事會ニ之ヲ通報スヘシ

5 第十六條 受任國ハ毎年委任條項實施ノ爲其ノ年度内ニ採レル手段ニ關

シ理事會ニ報告ス其ノ一年内ニ公布或ハ發布セラレタル法律ハ報告ト共ニ提出スヘシ

第十七條 本委任統治ノ條項ノ變更ニハ聯盟理事會ノ承認ヲ要ス但シ受任國ノ提議ニ基テ變更ニ付テハ其ノ承諾ハ理事會ノ過半數決ニ依ル本宣言ノ條項ノ解釋適用ニ關シ聯盟國間ニ争起リ協定ヲ得サルトキハ國際聯盟ノ常設國際司法裁判所ノ審判ニ附スヘシ

Article 14. The mandatory undertakes that there shall be no discrimination in Mesopotamia against the nationals of any State member of the League of Nations (including companies incorporated under the laws of such State) as compared with the nationals of the Mandatory or of any foreign State in matters concerning taxation, commerce or navigation, the exercise of industries or professions, or in the treatment of ships or air craft. Similarly, there shall be no discrimination in Mesopotamia against goods originating in or destined for any of the said States, and there shall be freedom of transit under equitable conditions across the mandated area.

Subject (*as aforesaid*) the Government of Mesopotamia may on the advice of the Mandatory impose such taxes and custom duties as it may consider necessary and take such steps as it may think best to promote the development of the natural resources of the country and to safeguard the interests of the population.

Nothing in this article shall prevent the Government of Mesopotamia, on the advice of the Mandatory, from concluding a special customs arrangement with any State, the territory of which in 1914 was wholly included in Asiatic Turkey or Arabia.

2-0686

0082

ing the said proclamation of indemnity and withdrawal of Martial Law, as also any regulations made or issued under any such proclamation shall be and are hereby ratified;

And I do further proclaim, declare, and make known that under and by virtue of the powers and authority in me vested by paragraph (c) of section xxx of the said Act I do hereby delegate to the Administrator of the said Territory the authority conferred in paragraphs (a) and (b) of the said section to repeal, alter, amend, or modify any laws in force within the said Territory including such proclamations and regulations as have been promulgated during the military occupation thereof and to make new laws applicable to the said Territory, the said Administrator acting in this behalf subject always to such instructions as may ~~be issued~~ ~~to him~~ ~~at~~ ~~any~~ ~~time~~ ~~be~~ ~~issued~~ for his guidance by proper authority.

GOD SAVE THE KING.

Given under my command the Great Seal of the Union of South Africa at Johannesburg on this the Second day of January.

ARTHUR FREDERICK,
GOVERNOR-GENERAL.

By Command of His Royal Highness the
Governor-General-in-Council.

J.S. SMYTH.

2-0 6 8 6

0003